

ジェンダーに基づく暴力の予防・対処を目的とした 保護委員会の設立

Thailand / タイ



Ratjai Adjayutpokin ラットジャイ (13期)

善き羊飼いたイ

女性や子どもたちに対する暴力の対応・防止を目的に、コミュニティの住民による保護委員会を組織し、参加メンバーへの研修等を通して、保護の仕組みを強化し、暴力を予防する事業です。

ラットジャイさんの活動紹介

<専門分野> 児童福祉

<日本での研修>

期	第13期 (1996年3月来日)
研修先	小田原愛児園 (保育所)、中心学園 (養護施設)、三愛荘 (精神薄弱者更生施設)、合掌苑 (特別養護老人ホーム)、双葉学園 (養護施設)

※施設種別は当時のもの

<母国での福祉活動>

母国では、主に子どもや女性への支援を行っています。

研修生として来日当時は、児童労働問題に取り組む組織に所属し、その後セーブザチルドレンで、地域密着型の子どもの保護システムの開発に携わりました。その後もいくつかの団体において、主に女性や子どもの人身売買からの保護に取り組んできました。

現在も、女性や子どもに対するあらゆる暴力を排除することを目的とした団体「善き羊飼いたイ (The Good Shepherd Thailand)」で、暴力防止の仕組みの確立をめざすプロジェクトを行っています。



セーブザチルドレンでの活動



第6回アジア社会福祉
セミナーに参加



ボランティア活動に参加

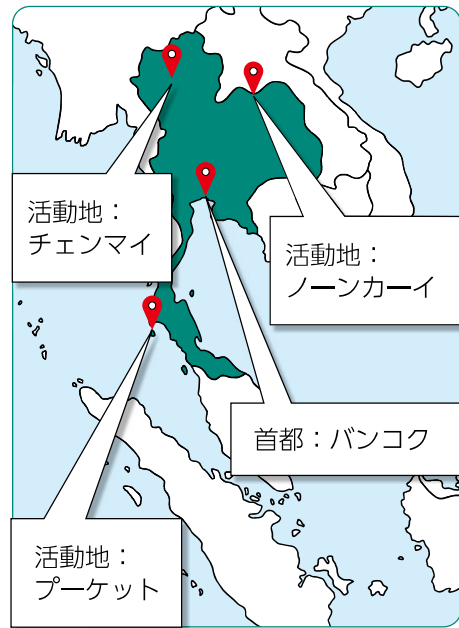
活動地の状況・課題

活動地は、北部に位置する第2の都市チェンマイ、ラオスと接するノンカーイ、世界有数のリゾート地として知られるプーケット島です。

タイでは、家庭内暴力は個人または家庭内だけの問題だと思われ、内密にされる傾向があります。暴力を経験した女性の大多数は、暴力問題に一人で対処しなければならない状況に置かれています。また、家庭内暴力の深刻さはあまり認識されていません。



家庭内暴力を発見した時の対応ワークショップ



事業の目的

上記地域における暴力問題の重大さを知った所属団体「善き羊飼いタイ」は、コミュニティが暴力を予防・対処する能力を高めることをめざし、女性や子どもたちを暴力から守る仕組みを強化するため本事業を計画しました。

事業の成果

- 女性や子どもたちへの暴力の予防・対処を目的とした保護委員会を設立し、123人（男性9人、女性114人）が委員会メンバーとなりました。
- 委員会メンバーは、研修を通して、自分たちのコミュニティで暴力を防ぐための知識や技能を学びました。メンバーは、暴力を発見した場合、当事者と話し合い、前向きなコミュニケーションや感情のコントロール等についてアドバイスを与え、暴力がもたらす問題や影響について理解を促しました。また、家族内のよりよい関係の再構築につなげました。
- 委員会メンバーが発見した暴力を「善き羊飼いタイ（所属団体）」に報告することで、適切な支援につながり、地元当局にも報告されるようになりました。
- 保護委員会は、セーフティネットの仕組みとなり、郡、地区、および州の保護システムに組み込まれました。
- 暴力が見られた家族を対象としたキャンプを行いました。27家族、67人（うち子ども30人）が参加し、暴力を用いずに家族の世話をする方法を学びました。



プーケット当局との調整会議



委員会メンバーに対するワークショップ

2021年7月～11月 保護委員会の設立

コミュニティの住民が研修を受け、プーケットの3つの郡において保護委員会を設立しました。委員会メンバーは、家族開発センターのスタッフ、村のリーダー、保健活動のボランティアおよびコミュニティの住民により構成されました。



2021年7月～11月 委員会メンバーに対する研修ワークショップ（3つの地域で全3回）

行政や地方自治体、NGOと調整会議を重ねて連携しながら、ケースの識別／報告／照会システムに関するワークショップを行い、以下のプログラムを実施しました。

- 家庭内暴力の根本要因、予防・保護の効果と方法、適切なサービスへの照会経路
- 家庭内暴力に関連する法および規制
- 家族内の積極的なコミュニケーション
- 感情のコントロールおよびストレス・マネジメント
- 女性・子どもに対する暴力からの予防・保護のためのネットワークづくり
- 暴力が発生した場合の通知、報告および照会



2021年11月25～26日 家族キャンプ

委員会メンバーによって選抜された家族では、家庭内暴力や体罰、精神的虐待が、とくに子どもたちに対して行われていました。27家族は2日間のキャンプを通して、家庭内暴力の状況、関連する法律、子育ての仕方、コミュニケーション、感情のコントロールやストレス・マネジメントについて学びました。また、「将来の家族」の絵を描きながら、関係の再構築を図りました。



今後の活動・展望

- 保護委員会のメンバーは、今後も自分たちのコミュニティに暴力のリスクがないか、暴力が起きていないか見守る役割を続けていきます。
- 必要に応じて、アドバイスを与えたり、地元当局に照会したり、適切なサービスにつなぎながら、女性や子どもを暴力から守っていきます。

収支報告

全体事業額：533,970 円

助成額：297,675 円

＜主な使途＞

- 研修ワークショップ開催にかかる経費
(食事・菓子代、研修参加者交通費、講師謝金)

＜収入＞

項目	金額(円)	内訳
全社協からの助成金	297,675	
自己資金	236,295	
合計	533,970	

＜支出＞

項目	金額(円)	内訳
委員会メンバーに対する 研修ワークショップ	236,018	食費 51,067 参加者交通費 72,775 スタッフ交通費 27,335 謝礼 51,482 教材費 24,484 会場費 8,875
家族キャンプ	297,952	食費 275,232 参加者交通費 14,200 スタッフ交通費 8,520
合計	533,970	

注) タイバーツ (THB) で提出された報告をもとに日本円に換算して表記
換算レート：1 タイバーツ ≒ 3.55 円 (送金日 (2021 年 5 月 18 日) の為替レート)

事業の様子を
収めた動画は
こちらから



Thailand

タイ王国 基本情報



面積 ^{※1}	約 51.3 万km ² (2020 年) 日本の約 1.4 倍
人口 ^{※1}	6,980 万人 (2020 年)
人口密度 ^{※1}	130 人/km ² (2020 年)
主要民族 ^{※2}	大多数がタイ族。その他 華人、マレー族等
主要言語 ^{※2}	タイ語
主要宗教 ^{※2}	仏教 94%、イスラム教 5%
政治体制 ^{※2}	立憲君主制
1人あたりの国民総所得 ^{※1}	3,985 米ドル (2019 年)
通貨 ^{※1} (1米ドル = 109.010 円換算)	1 米ドル = 31.294 バーツ (2020 年平均) 100 円 = 29.310 バーツ
平均寿命 ^{※1}	男 74 歳、女 81 歳 (2019 年)
65 歳以上人口割合 ^{※3}	13.54% (2021 年)
合計特殊出生率 ^{※4}	1.5 (2020 年)

※1 統計局 世界の統計 2022 <https://www.stat.go.jp/data/sekai/0116.html>

※2 外務省 HP <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/thailand/index.html>

※3 World Bank Population ages 65 and above (% of total population) - Thailand
<https://data.worldbank.org/indicator/SP.POP.65UP.TO.ZS?locations=TH>

※4 World Bank Fertility rate, total (births per woman) - Thailand
<https://data.worldbank.org/indicator/SP.DYN.TFRT.IN?locations=TH>